

第411輯

わが町と原

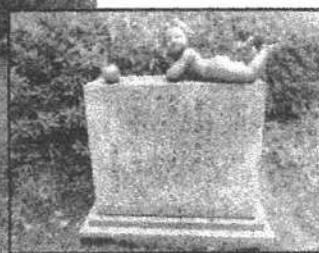
みはら歴史と観光の会

平成3年3月創刊
月刊

令和 7年

6月号

かもめの水兵さんの歌碑



〔 歌碑 「かもめの水兵さん」と「リンゴのひとりごと」…宮浦公園 〕

撮影 2025.5.10 鈴木 健次(宮浦)

三原市の大きな祭りの一つ「さつきまつり」のメイン会場宮浦公園のさつき開花状況を観察に出掛けた。まだ蕾が多かったが、写真の二つの歌碑に見とれた。作詞は三原市西町浄念寺生まれの女流詩人武内俊子さん。かもめの水兵さんは小学校のお遊戯などで歌われ、日本だけでなく世界の11カ国で広く愛され日本の歌100選にも選ばれている。現在JR三原駅の入線メロディーに使用されているが、さつきまつり等を通して、この三原市の宝のPRには更なる力を入れて欲しいものである。

六
月
の
行
事

各
地
会

06日(金)～29日(日)	三景園花まつり	9:00～18:00(入園は17:30まで)
12日(木)	米山寺 小早川隆景公の法要	10:30～
【半どん夜市】 以下はいずれも 18:00～21:00		
14日(土)～7月19日(土)	毎週土曜	本町中央通り・一丁目、帝人通り
7月26日(土)のみ		宮沖公民館横
7月26日(土)のみ		浮城東通り(イオン駐車場内)
【夏越大祓】		
30日(月)	糸碓神社	17:30～
30日(月)	賀羅加波神社	12:00～ 18:30～
08日(日)	レキカン総会と記念講演会	於 三原市中央公民館
28日(土)	勉強会「三原志稿」(3)	10:00～ サン・シープラザ4F

P 1	表紙…表題：かもめの水兵さんの歌碑	行事予告
	写真：歌碑「かもめの水兵さん」と「リンゴのひとりごと」	
2	銅鐸に見る弥生時代の狩猟と農耕	幸崎能地 行長 啓三
3～5	旧山陽道・昔「山中村」・今「中之町」の史跡を見て歩く	本町 正田 哲夫
6～9	R7 春のハイキング感想文	小泉町 吉岡 利文
10～11	皇紀について	沼田東町 西村 雅幸
12	会よりの便り	事務局



みなづき

水無月

今月の各地



きのと み

乙巳

むら

AJ2685

令和七年

AD2025

ムラ。

まち

まち

歳時記

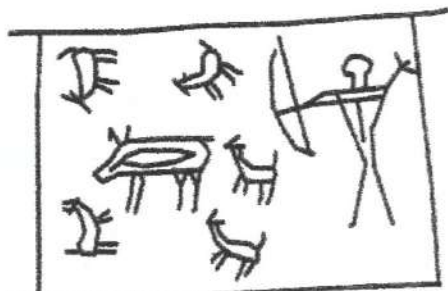
銅鐸にみる弥生時代の狩猟と農耕

幸崎能地 行長 啓三

先日30年前の切り抜きに、自身のライフワークの一つでもある、野生動物の研究に資する記述を見つけたので紹介する。

弥生時代、豊作を神に祈る農耕祭りの際に使われたとされる儀器に銅鐸がある。香川県出土と伝えられる袈裟褌(けさだすき)

文銅鐸に、弥生の画家が描いたイノシシ狩りの絵があり、「銅版画」には、5匹の猟犬がイノシシを遠巻きにしてほえかかり、そのわきに引き絞った弓から矢を放つ“弥生のロビン・フッド”が描かれている。



よく見るとロビンは、弓の真ん中からやや下の部分を握って矢を放っている。

この描き方、中国の史書で、弥生時代の風俗・風習を記した「魏志倭人伝」の「日本人は弓を使うのに」木弓は下を短く、上を長くし」の記述と符合するという。また、この銅版絵画は弥生のムラで、猟犬を飼育していたことも教えてくれる。



さらに、この時代に大事にされた動物としてシカがあり、銅鐸の絵画に最も多く使われている。奈良時代に編纂された「播磨國風土記」には、シカの血に種を播くとより早く発芽するという呪術的な儀礼が記されており、シカの生命力が稲の成育を助けるという信仰があった事が分かる。

このように、農耕祭祀にシカが重要な役割を果たしたのは、シカの角が毎年春に生え、夏秋と育ち、冬にはとれて落ちてしまうことを、植物の再生と関連づけていたためと考えられる。

銅鐸が語る多くの弥生時代の風俗・風習そして政治について、今後の銅鐸探求を通して報告していきたい。

レキカンだより

みはら歴史と観光の会

723-0051 三原市宮浦6丁目 9-32

令和7年6月

検索

わが町三原

～みはら市民協働サイト「つなごうねっと」加入団体～

レキカンには新入会員・再入会員を募集・歓迎しております

行 事 報 告

- 4月25日 月報発送配布作業(後、大原、岡田、小川、金森、桑田、川上、小森、正田哲、瀬畑、西村、高杢、松竹、三好他)
- 5月05日 5月度理事会(レキカン総会の件他)
- 5月18日 市郷連総会(レキカン 12名参加)
- 5月19日 京覧カントリークラブ入口花壇整備(瀬畑)

行 事 予 定

1. 勉強会 三原志稿(3)
 - (1) 日 時 令和7年6月28日(土) 10時～12時
 - (2) 会 場 サン・シープラザ4F 第2研修室
 - (3) 内 容 「三原志稿」の輪読
2. レキカン総会ならびに記念講演会 **参加者募集!**
 - (1) 日 時 令和7年6月08日(日) 13:00 ～ 受付開始
 - (2) 記念講演 13:30～15:20
演題 「石垣の石材属性から見えてくるもの」
講師 広島市文化振興課 埋蔵文化財担当 山岡 渉 様
定員 130名
申込み この頁右上の事務局まで 住所・氏名・電話番号を
はがき、FAX、Eメールにて(締切 5月31日)
 - (3) 総会 記念講演が終了次第開始